

リベラルアーツ教育院研究発表題目一覧

大西 浩次

- ・大西浩次：市民科学としての「長野県は宇宙県」の近代天文学史 100 年，第 21 回天文文化研究会，(2021. 7)，[6].
 - ・大西浩次：市民科学としての「長野県は宇宙県」の近代天文学史，第 35 回天文教育研究会/2021 年天文教育普及研究会 年会集録，PP109-112，(2021. 8)，[6].
 - ・大西浩次，陶山徹，大西拓一郎，渡辺真由子，早川尚志，野澤聡，衣笠健三，百瀬 雅彦，宮地美由紀，是枝敦子，青木 勉，小林尚人，森由貴ほか：市民科学による「長野県は宇宙県」の近代天文学史 100 年の構築に向けて II，日本天文学会 2021 年秋季年会 Y18a，(2021. 9)，[6].
 - ・衣笠健三，百瀬雅彦，宮地美由紀，大西浩次，青木勉，陶山徹ほか：長野県における星空環境保護活動 ～光害防止に係る県条例改正に向けて～，日本天文学会 2021 年秋季年会 Y19a，(2021. 9)，[6].
 - ・陶山徹，渡辺真由子，大西浩次，大西拓一郎，茅野勝彦，早川尚志，衣笠健三，青木勉，野澤聡，宮地美由紀，百瀬 雅彦，丸山卓哉：長野県天文文化研究会の現状～諏訪天文同好会の多様な活動～，日本天文学会 2021 年秋季年会 Y20a，(2021. 9)，[6].
 - ・大西浩次，陶山徹，大西拓一郎，渡辺真由子，早川尚志，野澤聡，衣笠健三ほか：「市民科学」で読み解く諏訪天文同好会の 100 年，日本天文学会 2022 年春季年会 Y11a，(2022. 3)，[6].
 - ・衣笠健三，百瀬雅彦，宮地美由紀，陶山徹，小林尚人，青木勉，森由貴，大西浩次：「長野県は宇宙県」全市町村で天の川が見られる県 ～長野県内の系統的な夜空の明るさ測定～，日本天文学会 2022 年春季年会 Y17b，(2022. 3)，[6].
 - ・大西浩次：表紙の言葉：別れと出会いの季節の憂鬱，天文教育, 175, Vol. 34 No. 2, (2022. 3), [5].
 - ・大西浩次：表紙の言葉：天空の光と地上の光，天文教育, 174, Vol. 34 No. 1, (2022. 1), [5].
 - ・大西浩次：表紙の言葉：「火口」から見上げる阿蘇の星空，天文教育, 173, Vol. 33 No. 6, (2021. 11), [5].
 - ・大西浩次：表紙の言葉：表紙の言葉：天空のリボン，天文教育, 172, Vol. 33 No. 5, (2021. 9), [5].
 - ・大西浩次：表紙の言葉：天空を架ける暗黒帯のアーチ，天文教育, 171, Vol. 33 No. 4, (2021. 7), [5].
 - ・大西浩次：表紙の言葉：トルコ石色の縁飾り（ターコイズフリンジ），天文教育, 170, Vol. 33 No. 4, (2021. 5), [5].
 - ・大西浩次：諏訪天文同好会設立 100 周年企画について，天文教育, 174, Vol. 34 No. 1, pp. 21, (2022. 1), [5].
 - ・大西浩次：「市民科学」による天文学史の解明へ～「長野県は宇宙県」100 年の天文学史の構築に向けて～，天文教育, 172, Vol. 33 No. 5, pp. 19-20, (2021. 9), [5].
 - ・大西浩次：天空を懸ける暗黒帯 ～「銀河鉄道の夜」の線路について～，天文教育, 171, Vol. 33 No. 4, pp. 12-15, (2021. 7), [5].
- * Miyazaki Shota, Sumi Takahiro, Bennett, David, P., Udalski Andrzej, Shvartzvald Yossi, Street Rachel, Bozza Valerio, Yee Jennifer C., Bond Ian A., Rattenbury Nicholas, Koshimoto Naoki, Suzuki Daisuke, Fukui Akihiko, Abe F., Bhattacharya A., Barry R., Donachie M., Fujii H., Hirao Y., Itow Y., Kamei Y., Kondo I., Li M. C. A., Ling C. H., Matsubara Y., Matsuo T., Muraki Y., Nagakane M., Ohnishi K., Ranc C., Saito T., Sharan A., Shibai H., Suematsu H., Sullivan D. J., Tristram P. J., Yamakawa T., Yonehara A., MOA Collaboration ; Skowron J., Poleski R., Mróz P., Szymański M. K., Soszyński I., Pietrukowicz P., Kozłowski S., Ulaczyk K., Wyrzykowski Ł., OGLE Collaboration; Friedmann Matan, Kaspi Shai, Maoz Dan, Wise Team ; Albrow M., Christie G., DePoy D. L., Gal-Yam A., Gould A., Lee C. -U., Manulis I., McCormick J., Natusch T., Ngan H., Pogge R. W., Porritt I., μFUN Collaboration ; Tsapras, Y., Bachelet E., Hundertmark M. P. G., Dominik M., Bramich D. M., Cassan A., Jaimes R. Figuera, Horne K., Schmidt R., Snodgrass, C., Wambsganss J., Steele I. A., Menzies J., Mao S., RoboNet Collaboration ; Jørgensen U. G., Burgdorf M. J., Ciceri S., Novati S. Calchi, D'Ago

G., Evans D. F., Hinse T. C., Kains N., Kerins E., Korhonen H., Mancini L., Popovas A., Rabus M., Rahvar S., Scarpetta G., Skottfelt J., Southworth J., D'Ago G., Peixinho N., Verma P., MiNDSTeP Collaboration : OGLE-2013-BLG-0911Lb: A Secondary on the Brown-dwarf Planet Boundary around an M Dwarf, *The Astronomical Journal*, Volume 159, Issue 2, id.76, 12 pp. (2020.2), [1].

- ・奥村紀浩, 柳沼晋, 和田一秀, 深井郁夫, 黒岩見法, 大西浩次: 学生実験におけるプランク定数測定 of 正確度向上, 長野工業高等専門学校紀要, 55, (2021.6), 1-10, [5].

久保田 和男

- ・久保田和男: 北宋徽宗時代の転換点について——『清明上河図』と『千里江山図』の間, 長野工業高等専門学校紀要 55, 1-9 (2021,6), [5].
- ・久保田和男: 1264年の大彗星と東アジア諸地域 —南宋・モンゴル・日本、それぞれの対応, 第77回福岡大学東洋史学研究会, (2021,6), [6].
- ・久保田和男: 宋都開封からの潮流——11から13世紀における都城史の画期, 第240回宋代史談話会, (2021,9), [6].
- ・久保田和男: 宋元代の都城と文化, 論点・東洋史学—アジア・アフリカへの問158— (共著、ミネルヴァ出版), (2022.1), 110~111, [2].
- ・久保田和男: 新刊紹介 山崎覚士著『瀕海之都—宋代海港都市研究—』, 都市史研究, 7 (2020.10), 134, [3].

小池 博明

- ・小池博明: 句切れをもつ「なりけり」歌の表現構成——文(句)と文(句)との接続——, 中国文化大学国際暨外語学院日本語文学系国際學術研討會論文集 (2021.5), 74-84, [1].
- ・小池博明: 句切れをもつ「なりけり」歌の表現構成——文(句)と文(句)との接続——, 中国文化大学国際暨外語学院日本語文学系国際學術検討会 (2021.5), [6].
- ・小池博明, 半沢幹一: 稗論大江千里集(八), 長野工業高等専門学校紀要 55 (2021.6) 1-7, [5].
- ・半沢幹一, 小池博明: 稗論大江千里集(九), 共立女子大学文芸学部紀要, 68 (2022.2), [5].

板屋 智之

- ・ Yoshihiro Takizawa, Kozo Osawa, Tomoyuki

Itaya, Hiroko Akiyama, Kyoichi Oshida: Preparation and interspace design of carbon nanofiber mats for oil adsorption, *The 2021 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies*, (2021.12), [6].

- ・ 押田京一, 滝沢善洋, 板屋智之, 畑俊充, Sylvie Bonnamy: 特異な形状のナノカーボンの生成とコンポジット材料への応用, 第463回京都大学生存圏シンポジウム 令和3年度木質材料実験棟共同利用発表会, R3-WM-01 (2022.3), [6].

濱口 直樹

- ・ 濱口直樹, 高遠節夫: 数学教育における数式の送受について, *日本科学教育学会年会論文集* 45, (2021.8), pp.91-92, [6].
- ・ 濱口直樹, 北本卓也, 高遠節夫: テキストをベースとしたLMSの利用とHTML教材の作成, *RIMS共同研究「数学ソフトウェアとその効果的教育利用に関する研究」*, (2021.8), [6].
- ・ 北本卓也, 濱口直樹, 高遠節夫: テキストをベースとするLMSの開発とMaximaの利用, *RIMS共同研究「Computer Algebra -- Foundations and Applications」*, (2021.11), [6].
- ・ 高遠節夫, 濱口直樹, 北本卓也: 非接触志向型授業の効果的かつ効率的な方法の模索, 第4回数学教育セミナー「TeXによる教材作成」, (2022.3), [6].

富永 和元

- ・ 富永 和元: 「グローバルエンジニア育成プログラム」の取り組み——長野高専の実践型英語教育プログラム」, *日本工学教育協会 第69回年次大会・工学教育研究講演会 オーガナイズドセッション* (2021.9.8), [6].

高桑 潤

- ・ 高桑 潤: 英語パーソナルノート 1年後期, 2年後期, 3年後期 (共著、東京法令出版), (2021.8), [2].

小宮山 真美子

- ・ 小宮山真美子: ワークショップ: 「ロジャー・マルヴィンの埋葬」を再読する, *日本ナサニエル・ホーソン協会 第39回全国大会* (2021,6), [6].
- ・ 小宮山真美子: *Rethinking Nathaniel Hawthorne ; Nature; Pastoral Experiments ; Environmentalty* を読む, *日本ナサニエル・ホー*

ソーン協会 東京支部 12 月例会, (2021, 12), [6].

- ・ Mamiko KOMIYAMA : Not to Bury Roger Malvin's Body: Respond to the Death of Others, NHSJ Newsletter 40 6-7 (2022,2), [5].

柳沼 晋

- ・ 奥村紀浩, 柳沼晋, 和田一秀, 深井郁夫, 黒岩見法, 大西浩次: 学生実験におけるプランク定数測定 の正確度向上, 長野工業高等専門学校紀要, 55, (2021.6), 1-10, [5].
- ・ 柳沼晋, 方煦: アモルファス合金ナノ構造におけるプラズモニック特性の探索, 長野工業高等専門学校紀要, 55, (2021.6), 1-11, [5].

赤瀬 正樹

- ・ 赤瀬正樹: 外国語としての英語教育における視聴覚メディアツールの応用, 長野工業高等専門学校紀要第, 55, 2-5 (2021.6), [5].
- ・ Masaki Akase: Equating and Validating of Vocabulary Measures Using Rasch Analysis, Interim Report of Grants-in-Aid for Scientific Research Project, Takushoku University (2021.7), [7].
- ・ Masaki Akase: A Longitudinal Analysis of Growth in Vocabulary Size and Strategy Use: Focusing on Japanese EFL Senior High School Students, Journal of Pan-Pacific Association of Applied Linguistics, 25(2) 105 - 130 (2021.12), <https://doi.org/10.25256/PAAL.25.2.6> [1].
- ・ Masaki Akase : Longitudinal Measurement of Growth in Vocabulary Size Using Rasch-based Test Equating, Language Testing in Asia 121-20 (2022.3), <https://doi.org/10.1186/s40468-022-00155-8> [1].
- ・ 上西幸治, 赤瀬正樹, 中澤敏浩: 日本の小・中学校英語教科書比較—助動詞に焦点を当てて—, 日本語教育 ICT 学会研究紀要 9 19-30 (2022.3), [1].

二星 潤

- ・ 二星潤: 屋代木簡からみえる古代の役人の教養—『論語』はなぜ読まれたのか, 日本の歴史を描き直す—信越地域の歴史像, (2021.9), 151-159, [2].

西信 洋和

- ・ 西信洋和, 山口俊博: 有理 $H(2)$ -構造を持つ

coformal でない分類空間の例, 日本数学会 2022 年度会, (2022,3), [6].

滝沢 善洋

- ・ Kyoichi Oshida, Masahiko Murata, Yoshihiro Takizawa: Analysis of the dispersion state of Pitch particles in polymers for nanofiber fabrication by optical microscopy and image processing, Journal of Physics and Chemistry of Solids, 163 (2022.1) 110585, [1].
- ・ 滝沢善洋, 山田大将, 渡辺昌俊: アフターコロナに向けた国際化の取り組み—インターネットによる国際交流—, 第 69 回年次大会・工学教育研究講演会, P62-63 (2021.9), [6].
- ・ Yoshihiro Takizawa, Kozo Osawa, Tomoyuki Itaya, Hiroko Akiyama, Kyoichi Oshida: Preparation and interspace design of carbon nanofiber mats for oil adsorption, Pacificchem 2021, オンライン開催 (2021.12), [6].
- ・ Hiroko Akiyama, Yoshihiro Takizawa, Kyoichi Oshida: Measurement of the interspace of nanofiber mats with image analysis, Pacificchem 2021, オンライン開催 (2021.12), [6].
- ・ 押田京一, 滝沢善洋, 板屋智之, 畑俊充, Sylvie Bonnamy: 特異な形状のカーボンの生成とコンポジット材料への応用, 第 463 回生存圏シンポジウム, 令和 3 年度木質材料実験棟共同利用研究発表会, オンライン開催, R3-WM-01, 京大大学生存圏研究所, pp. 33-36, (京都大学) (2022.3), [6].

牧 千夏

- ・ 牧千夏: 宮沢賢治と民間信仰: 「産業組合青年会」を中心に, 宮沢賢治研究 annual 31 123-130, (2021,3) [6].
- ・ 牧千夏: 宮沢賢治とその生徒の経済的・教育的階層, 長野工業高等専門学校紀要 55 1-8, (2021,6) [5].
- ・ 牧千夏: 近代日本における農村地域の文化活動: 宮沢賢治を中心に, 学位(課程博士)申請論文, 2021,9 受理 [7].

嶋崎 太一

- ・ 嶋崎太一: 人間性への問い, 新道徳教育全集 2, 学文社, 29-32, (2021,6), [2].
- ・ 嶋崎太一: カント『遺稿』エーテル演繹における経験の理論, 現代カント研究 15, 41-60,

- (2021. 11), [1].
- ・ 嶋崎太一：「公共」がめざすもの-「寛容という徳」から公共を考える-, 公民最新資料特集 9 号 2-6, (2021. 11), [3].
 - ・ 嶋崎太一：運動力は物質に本質的なものか, 日本カント協会第 46 回大会, (2021. 11), [6].
 - ・ 嶋崎太一：技術者倫理は「平和」を語りうるか, 広島大学応用倫理学プロジェクト研究センター第 29 回大会, (2022. 2), [6].
 - ・ 嶋崎太一：技術者倫理において「平和」を定義する, ぶらくしず 103-117, (2022. 3), [1].
 - ・ 嶋崎太一ほか：クローズアップ公共 2022, 第一学習社, (2022. 3), [2].